

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)
第 64 回理事会 (決議省略) 議事録

1. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第 1 号議案

2023 年度 原油価格・物価高騰、子育て及び新型コロナ対応支援枠 資金分配団体選定の件

<提案事項>

本年 1 月に発災した能登半島地震への対応の観点から、被災により、物価高騰や子育て支援といった対象事業領域で深刻化した社会課題への対応等に対し緊急的に対処する事業について、2024 年 2 月末を締め切りとして追加公募 (5 次) を実施、2 事業、申請額 353,355,698 円の申請があった。

審査会議での審査の結果、2 事業ともに理事会への推薦を受けており、本 2 事業を採択とすることについて決議願いたい。

なお、今回の推薦事業がすべて採択に至った場合、本支援枠の採択額計は、2,165,662,074 円となる (40 億円の予算枠に対し、残余 1,834,337,926 円)

【採択とする事業及び事業概要 (事業名称)】

●理事会への推薦事業 (2 事業)

団体名	申請事業名	申請額 (円)
一般社団法人 RCF	能登コミュニティおよび事業の継続維持に向けた復興支援事業	168,965,790
特定非営利活動法人エティック	能登半島地震緊急支援および中長期的復興を見据えた基盤強化事業	184,389,908

【審査委員より理事会への推薦コメント】

両事業ともに、復旧・復興期において本支援枠が対象とする社会課題への対応を緊急に行う実行団体への支援を前提とした事業計画、実行団体の公募などを行うよう、JANPIA の担当 PO を通じて適切に連携を図っていただきたい。

2. 理事会の決議があったものとみなされた事項を提案した理事の氏名

理事長 (代表理事) 二宮 雅也

3. 理事会の決議があったものとみなされた日

2024 年 3 月 18 日 (月)

4. 議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名

理事長 (代表理事) 二宮 雅也

2024年3月14日(木)、理事 二宮雅也が理事及び監事の全員に対し、理事会の決議の目的である事項について、上記の内容の提案書を電磁的記録によって発送した。当該理事会の決議の目的である事項につき、2024年3月18日(月)正午までに、理事の全員が書面または電磁的記録により同意の意思表示をし、監事の全員から電磁的記録により異議を述べない旨の確認書の提出を受けたので、当機構定款第44条および理事会規則第10条に定める「決議の省略」の規定に基づき、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

以上の通り、理事会の決議があったものとみなされたことを明確にするため、この議事録を作成し、議事録の作成に係る職務を行った理事が記名押印する。

2024年3月18日

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

理 事 長 二 宮 雅 也